

授業科目名	英 語 II			担当教員	力武 由美、高瀬 文広	
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	英語 I で身につけた基礎力を基に、英文を読む力と英語で発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。					
到達目標	1. 2 - 4 年で自分が行う英語学習の目標と計画を立てることができる。 2. 英語の学術的・実務的文章の談話構造を理解し、パラグラフ/エッセイを書くことができる。 3. まとまった量の英文、医療保健についての専門的文章を読むことができる。					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	Introduction Pre-Writing: Getting Ready to Write	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、書き始める前の作業を知る。 復習：テキスト 4, 10 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
2	The Structure of a Paragraph	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、パラグラフの構造と機能を分析する。 復習：テキスト 16 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
3	The Development of a Paragraph	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、パラグラフの展開法を分析する。 復習：テキスト 24 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
4	Descriptive Paragraph	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、描写パラグラフの特徴を分析する。 復習：テキスト 32 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
5	Opinion Paragraphs	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、主張パラグラフの特徴を分析する。 復習：テキスト 39 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
6	Comparison / Contrast Paragraphs	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、比較・対照展開法の特徴を分析する。 復習：テキスト 49 頁	60 分 + 90 分	高瀬 力武	
7	Problem / Solution Paragraphs	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、問題・解決展開法の特徴を分析する。 復習：テキスト 55 頁	60 分 + 90 分	高瀬 力武	
8	The Structure of an Essay	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、問題・解決展開法の特徴を分析する。 復習：テキスト 62 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
9	Outlining an Essay	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、アウトラインを書く目的と要件を分析する。 復習：テキスト 70 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	
10	Introductions and Conclusions	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、イントロダクションとコンクルージョンの目的と要件を分析する。 復習：テキスト 77 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武	

11	Unity and Coherence	講義 演習	予習：テキスト該当ページを読み、パラグラフとエッセイにおける単一性と一貫性の重要性を理解する。 復習：テキスト 87 頁	90 分 + 20 分	高瀬 力武
12	Essay Writing for Essay Contest Evaluation	講義 演習	予習：医療関連記事を読み、主題を設定し、エッセイを書く。 復習：評価をもとにエッセイをリライトする。	90 分 + 60 分	高瀬 力武
13	Essay Contest Evaluation	講義 演習	予習：エッセイを編集する。 復習：評価をもとにエッセイをリライトする。	90 分 + 60 分	高瀬 力武
14	クラス別期末試験	試験	パラグラフとエッセイの構造、機能、展開、議論法について復習する。	90 分	高瀬 力武
15	まとめとフィードバック	講義	それまでに書いたパラグラフおよびエッセイを見直し、自分の技能の向上を自己評価する。	60 分	高瀬 力武
先行履修 科目					
テキスト	Zemach, D. E. & Ghulldu, L. A.: Writing Essays: From Paragraph to Essay. Macmillan, Education 2011. および、担当者が指定するもの。				
参考文献	斎藤兆史：これが正しい! 英語学習法. 筑摩書房 (ちくまプリマー新書), 2007. 竹内理：「達人」の英語学習法. 草思社, 2007. 鳥飼玖美子：国際共通語としての英語. 講談社 (現代新書), 2011. 中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい! - 英語負け組からの華麗なる脱出法. 筑摩書房 (ちくま文庫), 2008.				
メッセージ	授業は 2 クラス制で行う。教材は、上記テキストと、各担当者が独自に選んだ教材を組み合わせ用いる。独自の教材に基づく活動の予定は、第一回の授業で配布する。 評価は、学期末共通試験の結果とクラス毎の評価を総合して行う。学内外で開催される各種国際活動への積極的参加も評価対象となる。				
科目の 位置づけ	本学のカリキュラムの構成概念の一つである「国際」に関連した技能の中でも最も基本的な技能を養成する科目である。専門家としての活動に必須の、Academic English を主対象とするが、人間の理解と社会の理解に寄与する題材を用いることによって、「人間」「環境」の学修の促進にも貢献する。また、リーディング/ライティング活動を通して、先行研究の尊重と著作権の保護に関するモラルを身に着けると同時に、エビデンスに基づく発信をすることによって発信内容に対する責任を自覚し、「自己教育力」を養成する。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○	◎			
評価方法	共通試験 (40%)、クラスごとの評価 (60%)				